

平成 25 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 セイコーエプソン株式会社
代表者名 代表取締役社長 碓井 稔
(コード番号：6724 東証第一部)

平成26年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績との差異
および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成25年 7 月31日に公表しました平成26年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と本日公表の実績に差異が発生するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成26年 3 月期通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績との差異
(平成25年 4 月 1 日～平成25年 9 月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 450,000	百万円 13,000	百万円 9,000	百万円 1,000	円 銭 5.59
実績値 (B)	468,630	34,037	30,643	18,441	103.09
増減額 (B－A)	18,630	21,037	21,643	17,441	－
増減率 (%)	4.1	161.8	240.5	－	－
(ご参考) 前年同期実績 (平成25年3月期第2四半期)	388,273	△14,142	△14,193	△35,447	△198.15

2. 平成26年 3 月期通期連結業績予想の修正
(平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 930,000	百万円 37,000	百万円 33,000	百万円 15,000	円 銭 83.85
今回公表予想 (B)	960,000	58,000	55,000	34,000	190.06
増減額 (B－A)	30,000	21,000	22,000	19,000	－
増減率 (%)	3.2	56.8	66.7	126.7	－
(ご参考) 前期実績 (平成25年 3 月期)	851,297	21,255	17,629	△10,091	△56.41

3. 差異発生および業績予想修正の理由

上期（第2四半期（累計））業績につきましては、インクジェットプリンター事業で先進国市場を中心としたローエンドモデルの絞り込みおよびハイエンドモデルのラインアップ強化に加え、新興国市場向け大容量インクタンクモデルの販売が第1四半期に引き続き好調であったことから、モデルミックスの改善および平均販売単価の上昇などにより本体の採算が向上しました。また、消耗品の売上高も堅調に推移し計画を上回りました。さらに、全事業において円安にともない収益改善が進むとともに、固定費の効率的な執行および執行時期ずれや保有特許の有効活用による特許料収入の計上もあり、全社としての営業利益以下の段階利益は、上記1のとおり前回予想を大幅に上回る結果となりました。

下期業績につきましては、為替レートを上期の円安基調や今後の見通しなどを考慮のうえ、1米ドル:95円、1ユーロ:125円と、それぞれ従来 of 想定から5円円安の前提に変更しました。現状、中国などの新興国経済に減速傾向が見られるなど、今後の事業環境に不透明感が漂うなか、本年3月に策定した「SE15後期 新中期経営計画」の根幹を担う情報関連機器セグメントは、インクジェットプリンター事業を中心に戦略に基づく着実な取り組みを継続することにより、前回予想の下期営業利益を確実に達成することをベースに、これに今回の為替前提の変更にもなう影響を加え、売上高および営業利益とも上方修正いたします。その一方で、マイクロデバイス事業では円安を背景とした競合先との価格競争の激化が見込まれ、また、新規事業での商品展開の遅れなどから、デバイス精密機器およびセンサー産業機器の両セグメントの営業利益は、前回予想を下回る見通しとなりました。この結果、下期の全社としての営業利益は前回予想を維持する見通しです。

これらの状況を踏まえ、通期業績予想につきましては、上記2のとおり前回予想を上方修正いたします。

以 上